

第57回経営協議会議事録

1. 日 時 平成30年6月26日(火) 14時00分～16時15分
2. 場 所 ホテルクラウンパレス浜松 3階 松の間
3. 出席者 今野(議長)、紀平、猿田、布村、御室、門田、山本、渡邊、田中、晝馬、金山の各委員
陪 席 宮嶋副学長(教育改革担当)、浦野副学長(情報・広報担当)、蓑島副学長(研究担当)、西山監事、村本監事
4. 議事録の確認
第56回経営協議会議事録(案)を原案どおり確認した。
5. 議 事
 - (1) 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について
渡邊理事から、平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について、全体的な状況の中から主な成果について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。
 - (2) 平成29年度決算(案)について
田中理事から、平成29年度決算(案)について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。
また、西山監事から、監査報告書に基づき監査の方法の概要及び監査の結果について、適正なものであると配付資料に基づき報告があった。
 - (3) 平成31年度概算要求(案)について
田中理事から、平成31年度概算要求(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。
 - (4) 連携協議会の設置について
議長及び山本理事から、静岡大学との連携協議会の設置について説明があり、審議の結果、連携協議会の設置を承認した。
 - (5) 学長選考会議の委員選出について
田中理事から、本協議会から学長選考会議委員(5人)を本学学長選考会議規則第2条第1項第1号の規定により選出したいと配付資料に基づき提案があり、審議の結果、次の5名を選出した。
紀平、布村、正木、御室、門田の各委員
 - (6) 報告事項
 - ①平成29年度監事監査意見報告について
西山監事から、平成29年度監事監査における意見について報告があった。
 - ②平成30年度経営協議会開催日程の変更について
総務課長から、平成30年度経営協議会日程変更について報告があった。

次回の経営協議会について(平成30年11月27日開催予定)

※学外委員からの主な意見（○：学外委員の意見等、◆本学側の意見・説明等）

議事(1) 平成 29 事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

○浜松医科大学でも英語教育に力を入れているということは非常に良いことであり、この形でどんどんやっていただきたい。

○卒後研修が変わるが、浜松医科大学の対応はどのようになっているのか。

◆新専門医制度に関しては、県内全体で専攻医が少ないというのが静岡県の実状である。浜松医科大学が基幹となっているプログラムがもう少し増えていけば、かなり充足するのではないか。

○新しい臨床研究法が動き出し、来年 3 月までは過渡期の状況だが、認定臨床研究審査委員会についてその後連絡はあったか。

◆臨床研究法に関して、浜松医科大学は認定臨床研究審査委員会に申請し、最初に選ばれた 49 機関の中にあり、現在機能している。継続的なものに関しては、今現在、来年継続するかどうかの審査をしているところである。

○単科医科大学の力を存分に発揮し、教育や研究・診療面で非常に大きな成果を上げているということで、高く評価したい。教育面では特に、カリキュラムマップの策定や科目ナンバリングの完了といったカリキュラム改善、医学英語・国際人の養成など、具体的な施策で取り組んでいると思う。また、光医工学共同専攻もいよいよスタートし、静岡大学との連携のもと浜松医科大学の強みを共同大学院として活かしていく道が新たにできたので、高い成果の論文が多く輩出されていくことを期待したい。

病院診療の方でも、経営改善により成果を着実に上げている。浜松医療センターとのテレビ会議システム開通など、地域医療への貢献や連携にきめ細やかに取り組んでいる。地域の先端医療機関としてのさらなる発展につなげていただきたい。

情報セキュリティの強化に取り組んでいるが、サイバーセキュリティというのは大変取り組みが難しい。体制は大丈夫か。

◆本学は情報セキュリティに非常に詳しい教職員を配置し体制を整えている。情報セキュリティ訓練や講習も実施している。

○働き方改革について、医療関係は他の企業と全く違う。考え方そのものを本格的ディスカッションに切り替えていく努力が必要である。

○ある医療機関でMRI、CTの検査と診療の現場にずれがあり診断漏れがあった。今回、委員会の統廃合をされているが、病理部や画像診断のところは逆に力を入れる必要があるのではないか。

◆本学ではこの4月から、放射線画像未読例を月2回全例から抽出し担当医に直接連絡するという体制を取っている。病理も5月から同様の体制で臨んでいる。

○救急医療はどうか。

◆浜松市の救急医療は運用体制が整っており、本院への救急搬送は一定のところ収まっている。将来的には救命救急センター化を目指したいと考えており、今後、センター化に向けて人員を増やす予定である。

議事(2) 平成 29 年度決算 (案) について

○全体として非常にバランスのとれた素晴らしい経営をしている。手術件数が急激に増えた要因は何か。

◆一番大きな理由は、患者の受術意思が増えたことではないか。診療科により差はあるが、高度な手術の集約化が図られ特定の機能を備えた病院で行うようになってきた。難易度の高い手術の実施、手術室の機能的運営などにより増加していると考ええる。

議事(3) 平成 31 年度概算要求 (案) について

○図書館について、教育センターとしての独立はあるのか。

◆考えていないが、司令塔的な役割は期待している。リベラルアーツも含めた英語教育拠点、医学教育や情報発信も含めた拠点として整備を進めている。

議事(4) 連携協議会の設置について

○大学の理念や特色が明確になるような工夫をしていくとよい。

◆課題はあるが、機能強化に結びつけたイニシアティブを実現したい。